

# 沖縄観光の発展のために

沖縄県立那覇国際高等学校

2年生 大湾 一乃

観光、それはとても楽しいものである。観光立県である沖縄は、今後もさらにその事業を拡大しようとしている。私も、観光業を発展させていくことは、今後の沖縄でとても重要なことであると思う。しかし、これから観光業をさらに発展させていく中で解決しなければならない問題がある。その一つがオーバーツーリズムである。オーバーツーリズムとは、観光客の急増に伴い、住民生活や自然環境などに悪影響が生じることである。

この問題で一番解決しなければならないことは、知名度の低さだ。この問題は、最近日本国内でも、話題になるようになってきたが、私もつい最近まで、英作文の題材集めで新聞の特集を読むまで、オーバーツーリズムという言葉さえ知らなかった。沖縄のこの問題の解決には、京都市のオーバーツーリズム対策がいいモデルになると思う。

私は先月、京都に旅行に行った。とても楽しいものであったが、オーバーツーリズムを痛感した旅行でもあった。私たち家族は、観光地である清水寺、嵐山などを訪れた。私はそこを訪れた時、人の多さに驚かされた。京都市内を移動する際、バスを利用したが、バス停で行列を作って並び、一、二台待たないと乗れないという状況だった。観光客である私たちにとって、それはあまり苦にはならなかったが、自分がその住民であったら、バスに乗ることは、とてもストレスになると思う。たくさんの観光客で溢れる京都は、オーバーツーリズムに悩まされてはいるものの、いくつかの対策をしている。私がその中で一番気になったものは、観光客の分散である。観光客を制限させないというこの対策は、これから観光業をもっと発展させたい沖縄にとっても当てはめることができるものではないかと私は思う。京都市が行なっている観光客の分散には、二つの種類がある。一つ目が時間の分散である。京都では、観光地であるお城やお寺などのオープン時間を早くし、「朝観光」として、成果を上げている。沖縄には、買い物を目的とするアジアの観光客も多く訪れる。それらの観光客は、お店の开店時刻に合わせて行動するため、その時間を調節する事で、通勤、帰宅のラッシュの混雑を減らし、また、夜の騒音も減らす事ができる。沖縄のオーバーツーリズムの悪影響の例として、交通渋滞や、騒音などが挙げられられており、私はこの二つの問題を軽減できれば、住民のストレスは大きく減ると思う。二つ目の分散は、季節の分散である。どこの観光地にも、混雑のピーク、そしてシーズンオフがある。沖縄では、七月から八月にかけて沖縄の綺麗な海を求めて観光客が最も多く訪れる。オーバーツーリズムを解決するためには、海以外の夏以外の魅力をアピールしなければならない。そのことは場所の分散にもつながる。年間の観光客数を分散できれば、地域住民の負担も大きく減ると思う。オーバーツーリズムが深刻になっている沖縄で、観光業をも

っと発展させるには、観光客に制限をかけないこれらの対策は、オーバーツーリズムの解決にとっても必要なのである。

観光は、沖縄のリーディング産業である。その観光を支えているのは、訪れた人を温かく受け入れる県民のチムグクルであると私が読んだ新聞に書かれていた。つまり、これから、沖縄の観光業が、発展していくかどうかは沖縄県民次第なのである。一人一人がチムグクルを持ち、みんなで観光業を支え、負担を分散していくことがオーバーツーリズムの一番の解決策である。

チムグクル。それは沖縄の人が持つ「思いやり」「優しさ」を意味する。その精神を持つ人がたくさんいる沖縄だからこそオーバーツーリズムは解決できるのである。

これからの沖縄のために、課題を乗り越えていくことで、沖縄にもっと多くの観光客が訪れるだろう。沖縄の観光を支えるのは、私たち沖縄県民のチムグクル。その一員になれるようまずは、チムグクルの精神を持つことから。一人一人が沖縄の発展を考えていく必要がある。